

2025（令和7）年度 東京大学 入試問題 第4問 解答例

一

親しみを寄せる伊志野の倍額で植木屋から樹を買い、苗木しか売れない伊志野を傷つけるようで、順吉は後ろめたかったから。

＊「順吉は～と感じたから。」等、主観的理由の形式で記すこと。

二

伊志野の悲しみに気づかないしげのは、気が弱く伊志野への自責を示す順吉に、やむを得ないと割り切らせ、慰めたかったから。

＊「しげのは～と感じたから。」等、主観的理由の形式で記すこと。

＊しげのは、（順吉とは異なり、苗木のことでの）伊志野の悲しみに気づいていない

＊しげのは、気の弱い順吉を・自責の必要はないと・慰めたい

＊しげのは、割り切っている（割り切るべきだと伝えたい

三

低い樹が不満で他の植木屋に頼んだが、伊志野の言う通り檜葉は伸び、順吉の後ろめたさが一年で一層深まったということ。

＊構文＝「順吉のうしろめたさが・一年で一層強まった」

＊「うしろめたさ」は「傷つけたという思い」「後悔」等も可

＊ただ単に「檜葉が伸びたので、植木屋の言うことは正しかった」などという事実確認ではない。それなら「ここからどのようなことがうかがわれるか」と出題者は問わない。

四

引け目を感じ、誇りを守ろうとする態度に対して、共感ともそうありたいという思いとも判然としない、心ひかれる心情。